

(別紙)

第三者評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>理念や基本方針は職員室や会議室、保育室にも掲示されています。法人の理念をもとに園の基本方針として作られた保育目標は、ホームページやパンフレットに記載されています。職員会議等で日頃の保育を話しあう際には、理念に立ち返って検討するようにしています。保護者には、毎月のお便りに記載したり、園長が行事のあいさつの中で話す等で周知を図っています。理念や基本方針について、さらに分かりやすく説明した資料の必要性を感じられていますので、今後、作成されることを期待します。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人では4つの保育園（以下、4園と記載）を運営しており、定期的に保育部門会議が開催されています。会議には各園の園長が出席してそれぞれの園の経営や運営状況の把握・分析を行っています。また、自治体からの地域情報や保育関係制度について、各園で情報共有しています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育部門会議で明らかになった人材確保について、実習生の受入れを増やし人材確保につなげています。また、外部に対して園の活動状況の周知が不十分なため、現在のホームページとは別に保育部門独自のホームページを作成する予定です。保育部門会議で話された内容は、園の職員会議で周知しています。保育部門全体の課題は4園合同で対応していますが、今後は、保育園毎の経営課題も明確にし、それぞれの園での取り組みとして進められていくことにも期待します。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>中・長期計画について、理事会で話し合われているようですが、具体的な計画は策定されていません。今後は、具体的な計画が作成されることを期待します。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>単年度計画には人材育成や修繕計画、数値目標が定められています。職員が具体的に取組み、次年度に向けて評価できるように策定されています。この項目は単年度の事業計画が中・長期計画を反映した単年度計画となっているかどうかを評価しますので、「c」評価となります。</p>		
<p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画は、職員からの意見を集め、職員会議を経て策定されています。保育内容については、毎月の職員会議で担当保育士が計画の進捗状況を話し合っています。行事については、行事後に職員が振り返りを行い、次の計画に反映しています。事業計画は園長が会議の場等で職員に説明していますが、職員の理解度にばらつきがあります。今後は、全ての職員に対して、事業計画の理解がさらに進むような取組みに期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎年5月に開催される保護者会総会で、園長が重点目標を中心に、事業計画について説明をしています。新年度クラスの保育士の紹介や行事の説明も行われています。また、ICTツールを使用して、行事計画や保護者会の予算案、収支決算報告を配信しています。保護者から直接個別に質問を受けた際には、園長や職員が回答しています。今後は、事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料等が作成され、保護者等がより理解しやすいような工夫に期待します。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
<p>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>文書記録や保育計画作成フローチャート、苦情対応や事故報告書の様式を4園で統一し、使用しています。4園合同で職員会議や意見交換会を実施したり、お互いの園を視察して他園の取組みを参考にしています。第三者評価の自己評価作成には職員も参画していますが、実施プロセスに対して職員の理解が十分ではありません。今後は、保育内容の評価に対する職員の理解が促進され、保育の質の向上に向けた取組みがさらに組織的に行われることを期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>前回の第三者評価受審後に挙げた課題は、翌年度の事業計画に反映しています。評価結果から明確になった課題に対して、職員への課題の共有化や、職員参画のものと分析や改善計画が十分</p>		

ではありません。今後は、職員参画のもと、評価結果の分析や改善に計画的に取り組まれることを期待します。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>職務分掌規程が整備され、園長の主たる業務が示されています。火事や地震等、有事の際の園長の役割と責任も明確化され、不在時には主任保育士が権限委任される体制が整備されています。新年度打合せや職員会議、日頃の業務において、園長は職員に対して自らの役割と責任を説明しています。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・②・c
<p><コメント></p> <p>園長は法人内の勉強会に参加し、経理や人事労務管理について知識を得ています。また、働き方改革や人権に関する情報収集や私立保育園協議会の園長研修への参加を通して、遵守すべき法令等の理解に努めています。研修参加後には、職員にも伝達をしていますが、周知が十分ではありません。今後は環境への配慮も含む幅広い分野について遵守すべき法令の把握に努め、職員への周知方法を工夫されることを期待します。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は、子どもが毎日元気に楽しくのびのびと過ごせるために、職員が笑顔で働きがいを感じながら保育できる仕組みを整えフォローしています。行事は職員が中心となり行っています。職員からの環境整備に関する提案に対して、予算を割り当て実現できるようにしています。職員が思い描く「やってみたい保育」の実現によって自主性と責任感が生まれ、リーダーの育成にも繋がっています。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・②・c
<p><コメント></p> <p>園長は、研修等を通して働き方改革を推進するための法令やハラスメントに関する知識学び、業務改善に反映させています。ICT ツールを導入して、子どもの出席確認やお便りの送信、緊急時や災害等のお知らせを一斉に配信することで、職員の業務軽減を図っています。保育部門会議で話合われた内容から挙げた経営状況や経営課題について職員会議で説明していますが、職員</p>		

の理解が十分ではありません。今後は、職員全体で効果的な事業運営にあたる意識の醸成に期待します。

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の人材確保は法人本部で行い、職員の配置は4園で協議して行っています。園では保育士体験や保育実習生の積極的な受け入れにより、採用に繋がっています。また、園長が保育士養成校の訪問や、保育士就職フェア等への参加を通して人材の確保に努めています。人材の確保・定着に関して努力をしていますが、思うような結果が出ていません。福祉人材確保に関する計画が作成されていませんので、今後は計画を確立されることを期待します。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>勤務規律及び勤務形態表が整備されており、保育士としての考え方や行動の具体例、勤務に関する基準が示されています。また、執務態度チェックシートや職能資格フレームを使用して、職員処遇を評価分析しています。人事考課規定は給与規定と結びついており、目標管理シートの評価は賞与に反映されています。今後は、キャリアパスを明確化する等、職員自ら将来の姿を描くことができるような、総合的な仕組みの整備に期待します。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>就業規則は正規職員と非正規職員に分けて整備されています。給与規程は正規職員と非正規職員の区別なく定められ、手当も明確に示されています。また、ハラスメントの禁止項目も整備されており、各種法律に沿った見直しを行い、働きやすい職場作りを進めています。毎年、ストレスチェックが行われ、職員のストレスへの気づきを促しています。職員の悩み相談窓口は法人内に設置されていますが活用が少ないので、今後は、外部の専門家を確保する等、活用しやすい工夫がなされることを期待します。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの目標は目標管理シートを用いて半年毎に設定しています。シートには重要項目や達成基準、達成結果の項目があり、数値化して評価が行えるように作成されています。目標の進捗について、日頃の業務中に触れていますが、面接の機会は設定されていません。今後は、目標管理シートの進捗確認のために中間面接の機会を設けられることを期待します。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c

<p><コメント></p> <p>年度の事業計画に職員研修の実施内容と予定が記載されています。役職に応じたキャリアアップ研修や保育士研修等の外部研修、感染症対策等や新試採用者向けの内部研修、eラーニング、4園合同研修等が実施されています。計画の他にも年間で様々な研修の案内があり、必要に応じて研修への参加を職員に促しています。キャリアアップ研修については長期的な計画が策定されていますが、全体的な教育研修計画は策定されていません。今後は、園として求められる職員の育成に向けた体系的な研修計画が策定されることを期待します。</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人では新規採用職員への研修や、保育士補助を対象にした保育士資格取得の勉強会が行われています。新任職員にはクラス担当保育士を中心に個別のOJTを実施しています。外部研修に関して職員の目に留まる場所に研修案内を掲示し、希望者が受講できるように配慮しています。外部研修参加者は、研修受講後に職員会議等で伝達をしています。今後は、研修の方法やテーマ・種類等を整理し、職員の技術水準に応じた教育研修が実施されることを期待します。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎年、保育学科や看護学科の大学生や専門学校生の実習を受け入れています。実習生等の受入れ担当は、主任保育士が行い、学校側が準備した育成プログラムに沿って実習を行っています。実習生等の受入れの際は、職員会議でクラスや担当保育士へ事前説明を行います。今後、実習受入れマニュアルが整備されることを期待します。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	③・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページには、園の理念や基本方針、保育の内容、事業計画・報告、予算・決算情報が公開されています。子どもの活動がイメージできるように、日々の活動プログラムや年間行事も掲載されています。SNS で行事等の活動の様子を写真付きで掲載したり、地域に向けて法人の広報誌を配布しています。園のパンフレットが用意されており、法人の理念や保育目標、年間行事予定、一日の流れ、苦情解決体制等が紹介されています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>経理規定が整備され、年度毎に見直しを行っています。法人のホームページには、経営情報が掲載されています。法人全体では、管理部長による経理規程の勉強会が定期的に行われ、各事業所の管理職が参加しています。今後の組織のガバナンス強化と事業運営の透明性向上のために、会計監査人制度が導入されることを期待します。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	③・b・c
<p><コメント></p> <p>全体的な保育計画の中に地域との関わりについて明示しています。園に併設している地域子育て支援センターに来訪する親子に園庭を開放しています。令和7年11月に行われる市の幼年消防クラブのフィスティバルや地区の秋祭りに園児たちが参加予定です。保護者には、地域の行事や法人主催のイベント情報を ICT ツールやポスターを掲示して周知しています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>中学校の職場体験や高校生のインターンシップを受入れて学校教育に協力しています。ボランティアの受入れについては主任保育士が対応しています。また、職場体験で来訪した中学生が、園の行事にボランティアとして来てくれています。今後は、ボランティア受入れに関する基本姿勢の明文化やマニュアルの整備が必要です。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>職員室には、病院や警察署、小学校等の関係機関の連絡一覧表が掲示されています。園長は市の保育課と病児保育や待機児童の問題について意見交換しています。職員には、職員会議で関係</p>		

<p>機関について説明し、保護者にも保護者会や入園オリエンテーションで情報提供を行っています。今後は、より地域の社会資源を明確にし、地域とのネットワークが広がるように期待します。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育部門会議では、地域の状況や福祉ニーズについて意見交換を行っています。地域子育て支援センターと連携し、福祉ニーズの把握に努めています。園長は市や私立保育園の園長会議に出席し、保育の課題や実情について意見交換しています。また、保護者からの相談や悩みが地域の問題や課題に繋がることがあり、必要な助言を行っています。</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者の要望や地域ニーズに応えるために、園では病児保育事業（体調不良型保育）や一時預かり保育に取り組んでいます。地域には児童館や公園が少ない状況にあります。法人として親子が安心して遊ぶことができ保護者同士が交流する場として地域子育て支援センターを開設しました。また、地域の家族向けレジャー施設やレストラン運営の公益的な事業も展開しています。今後は、地域の防災対策等の地域の安全や安心に関する取組みも実施されることを期待します。</p>		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画の重点目標に「子どものための保育」が掲げられ、全体的な保育計画には、子どもを尊重した保育や取組みについて明示されています。毎年、市が主催する子どもの人権に関する研修会に職員が参加し、参加後は職員会議で情報を共有しています。年2回、人権擁護のためのセルフチェックリストを用いて、全職員に「子どものための保育」が行えているかの振り返りを行っています。しかし、園独自の人権に関しての勉強会の開催は少ない状況です。今後は、園で子どもの人権に関する勉強会を定期的に開催する等の取組みに期待します。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子どものプライバシー保護について、園長が職員会議で職員に伝えています。家庭での様子や出来事についても必要な情報共有以外は職員間で話さないように指導しています。今後は、排泄やプール活動での着替え等、プライバシー保護についてのマニュアルを整備し、より職員にプライバシー保護についての理解が深められるように期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園の取組みや特徴は、法人のホームページや園のパンフレットから情報を得ることができます。見学会では、主任保育士が園内を案内し、保護者に園の特色や特徴を丁寧に説明しています。毎年、パンフレットの内容の見直しが行われ、商業施設等に設置しています。しかし、ホームページの構成やデザイン等の見直しが課題にあげられていますので、今後はホームページの内容を充実させ、より利用希望者に分かりやすい情報提供ができるように期待します。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>入園時は、重要事項説明書や入園のしおり、市の健康のしおりを用いて保護者に説明を行っています。保育の変更については、保護者に口頭やICTツールで伝え、内容に応じて書面でも渡しています。今後は、外国の方や支援が必要な子どもの保護者への説明についてルール化されることを期待します。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>転園後の相談窓口は園長となっています。園長から保護者に転園後も保育の相談ができることを口頭で伝えてあります。園長は保護者から電話で相談を受け、必要な助言を行っています。今後は退園後の相談窓口を文書で明示し保護者に配布することを期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>行事後に楽しかったことを子どもに聞いたり、絵で表現してもらい満足度の把握に努めています。保護者は1日保育士体験後にアンケートを実施し、感想を聞いています。集計したアンケートや聞き取った内容は、職員会議やクラス会議で共有し、行事や保育内容の改善に活かしています。しかし、行事や保育内容の感想を聞く機会が少ない状況ですので、今後はICTツールを活用し、より多くの子どもや保護者の満足度の把握が行えることに期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制が整備されており、パンフレットや入園時のしおり、ホームページで明示されています。苦情については文書やメール、口頭で受付が可能です。苦情対応マニュアルも整備されており、職員室に配備されています。苦情として挙げた内容は職員会議でも共有し、話し合いをもち再発防止に活かしています。今後は、保護者に苦情解決の仕組みや公表についてより周知ができるように期待します。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園では、朝夕の送迎時や保育参観、二者面談で意見や相談を受けています。随時、個別の面談もでき相談室も用意されています。また、ICTツールを使った相談や意見箱への投書も可能です。相談や意見は担任保育士の他、園長や主任保育士に相談することもできます。今後は、相談する人を自由に選ぶことができることを保護者に周知できるように期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの相談や意見の内容をクラスで共有して話し合っています。また、園長や主任保育士も把握し、職員に助言を行い、必要時は保護者の対応にもあたります。必要に応じて職員会議で情報を共有しています。今後は、苦情解決マニュアルとは別に、相談や意見に対する対応マニュアルの整備に期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育安全計画には、遊具の点検や散歩時の安全指導が明示されています。事故防止及び事故発生対応マニュアルも整備されています。事故報告やヒヤリハット報告で挙げた内容は、職員会</p>		

<p>議やクラス会議で原因や対策を話し合い、安全マップの作成にも反映させています。しかし、安全確保や事故防止に関する研修会が少ない状況ですので、今後は、定期的な安全確保や事故防止に関する研修の開催が行われることを期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>感染症の予防や発生時にはマニュアルに沿って対応しています。内部研修では看護師が主となり、嘔吐物処理の方法や手洗い方法を職員に教えています。保護者には、園の保健だよりに時季に流行しやすい感染症や症状を載せて知らせています。今後も職員に対する感染症に関する勉強会を継続して開催することを期待します。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園では防災訓練年間計画表が作成されており、毎月、計画表にもとづいて避難訓練を実施しています。訓練後は各クラスで反省や改善点を議事録に記載し、次回の訓練に活かしています。緊急時対応マニュアルには、災害の対応方法をフローチャートで示されています。子どもには防災頭巾を用意し、プロジェクターや紙芝居を使って災害の怖さや避難訓練の大切さを教えています。備蓄品は一覧表を作成し、園長が定期的に食糧や物品の確認を行っています。今後は、地域の関係機関と連携して防災対策を行うことを期待します。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育に関する実施方法として保育マニュアルが整備されています。年齢に応じた衛生管理や応急処置に関する内容等が文書化されています。標準的な実施方法に沿った保育が実施されているかは、園長や主任保育士が各クラスの保育の様子を見たり、職員会議で聞き取ったりして確認しています。今後は、標準的な実施方法について、研修や個別の指導等を実施できるように期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育マニュアルの内容は、職員会議やクラス会議で話し合い見直しを行っています。クラスでは職員の意見にもとづいてデイリープログラムの見直しが行われています。今後は保育マニュアルの見直しにあたり、より職員や保護者からの意見や提案を反映させるような取組みに期待します。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者には、入園時のオリエンテーションで子どもの発達状況や家庭環境を聞き取り、用紙にまとめています。入園後は朝夕の送迎時や二者面談で保護者から子どもの様子をアセスメントし、指導計画に反映させています。今後は、指導計画作成の責任者を明確にし、様々な職員が関わりながら指導計画の作成が行われるように期待します。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>全体的な指導計画は職員会議で評価や見直しを行っています。3歳未満児や障害のある子どもについては発達状況に応じて見直しをしています。今後は見直しをされた内容についてより職員へ周知できる取組みに期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育の実施状況は、保育日誌や児童票等は統一された様式に記録されています。ICT ツールを使い、全職員が子どもの様子や状況を共有しています。また、体調不良や延長保育の子どもは、申し送りをしっかりと行い、引継ぎを行っています。職員によって記録内容や書き方に差異が生じないように、園長や主任保育士が記録物を確認して指導にあたっています。今後は、記録要領の作成や更なる職員への指導が行われることを期待します。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個人情報保護規定にもとづき、子どもや保護者に関する個人情報の管理がされています。個人情報の記載がある文書や記録物は、鍵のかかった書庫に保管されています。子供についての記録の記入や閲覧は、職員室で行うことになっています。保護者には入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意をもらっています。今後は、個人情報の取り扱いや記録の保管方法についての研修が行われることを期待します。</p>		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>全体的な計画は、毎月実施する職員会議で出た意見を参考に作成し、養護教育のねらいも含めた計画となっています。子どもの様子や状況は、職員会議までに担当者がICT ツールに入力しています。会議では、入力された情報を印刷した資料と配布物をもとに進めています。会議で話し</p>		

<p>合われた改善点については月案作成に反映させています。</p>		
<p>A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開</p>		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>各保育室には、加湿器や空気清浄機が設置されています。子どもの状況に応じて一人の空間を提供できるように子どもテントを購入しています。園舎の一角には、絵本を自由に読めるコーナーがあります。保育士の要望により大型絵本もたくさん購入しました。子どもたちが自由に絵本を手にすることができる環境が充実しています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・㉗・c
<p><コメント></p> <p>子どもに寄り添う保育の実践に努めています。保育士は、子どもが自ら「できた」という達成感を味わう経験を妨げないよう、見守りとさりげない手助けを重視しています。状況によっては、子どもをせかす言葉を使ってしまうこともあるとのことなので、せかす言葉がより少なくなり、子どもの状態に応じた保育が充実することを期待します。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	㉘・b・c
<p><コメント></p> <p>生活習慣の習得については、子ども一人ひとりの発達に合わせてゆっくり進めています。トイレトレーニングでは、子どもがイメージしやすくなるように紙芝居を用いています。衣類の着脱については、そばで見守りや声掛けを行い、できないところはさりげなく援助し、一人でできた時には共感する援助を行っています。室内は上履きを使用するため、上履きを履く練習も行います。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㉙・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢に応じて、子どもの意見を聞きながら日々の活動を決めています。子ども自身で選択する環境を整備し、子ども同士で話し合いを持てる機会を保育の中に取り入れています。発表会という行事を経験した後は、発表会ごっこを行い、配役や担当を交代しながら皆で何度も余韻を楽しんでいます。サーキットトレーニングを行える園庭や広いホールでは、全身を使って体を動かすことができます。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉚・b・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりが保護者との連携を念頭に置き、送迎時に会話をする等、丁寧な保育がなされています。年間指導計画をもとに全体的な月案の他に個別月案を作成し、発達過程に応じた保育を行っています。スキンシップを大切に、喃語にも応えるようにしています。わがままを言っ</p>		

<p>でも最初はとにかく受入れることを重視し、家庭的な雰囲気の中で過ごす保育を実践しています。おもちゃの消毒は毎日実施し、衛生管理にも努めています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	③・b・c
<p><コメント></p> <p>保育士は、子どもの様子を良く見極めながら、その場に応じて臨機応変な対応を行っています。子ども同士で協力し合いながら「思いやり」を育めるような状況は、見守りを重視します。保育士のさりげない援助で、「自分でできた」といううれしい気持ちを子どもから引き出すことができた時は、その場に居合わせた皆の心がとても温かくなります。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	③・b・c
<p><コメント></p> <p>保育士が子どもと一対一で関わる時間を取れるように職員を多く配置しています。子ども一人ひとりが集団での活動に無理なく参加し、楽しむことができるように、個性や子どもの気持ちに寄り添う声掛けをしています。就学に向け「時間を意識する」取り組みとして、時計制作も行っています。保育目標の一つとして掲げられている豊かな情操を身に付けるために、リトミックや英語教室も保育に取り入れています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>個別に指導計画を作成し、子どもに応じた一貫性のある保育を行っています。指導計画作成時には、保護者から卒園後の生活について考えていることを聞きとり、その為に現時点でできることを話し合いながら保育を行っています。気持ちを落ち着ける必要がある場合は、パーテーションを使う等の工夫もしています。今後は、全保護者にも障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えられることを期待します。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	③・b・c
<p><コメント></p> <p>18時から行われる延長保育は、別室で年齢の異なる子どもが一緒に過ごします。子ども達は、畳のある場所で寝転がったり、絵本を読む等、子ども自身がそれぞれ自由にゆったりと過ごしています。別室にのみ準備してあるおもちゃで遊べることは、特別感を味わえる楽しみとなっています。延長保育利用の子どもは、19時頃を目安に、夕食に支障のない程度のおやつを食べています。一日の生活を通して、保育の連続性に配慮した子ども主体の取り組みとなっています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>5歳児から、一人ずつの机が準備され、文字や数字等を学ぶ時間があります。10月後半からはお昼寝の時間がなくなります。就学してから楽しく小学校生活を送れるよう、紙芝居や絵本を用</p>		

<p>いて小学校の生活の様子を学びます。実際にハンカチ・ティッシュを持参し、就学後の生活の練習をすることもあります。散歩に出かけた際は、歩道を歩く練習や、横断歩道の渡り方も学んでいます。今後は、保護者が小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられること期待します。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども一人ひとりの健康状態に関する情報は、関係職員で情報共有しています。職員に向けた子どもの健康についての情報は、研修で随時学んでいます。既往症や予防接種の状況等、子どもの健康に関わる必要な情報が得られるよう、随時保護者に声をかけて確認しています。保護者に向けた子どもの保健についての情報提供が、ICT ツールを活用しさらに充実することを期待します。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年2回、内科健診・歯科健診が実施され、結果については文書または口頭で保護者に伝えています。職員間では結果を一覧表にしたものを回覧して周知しています。健康診断結果、体力向上の必要性があり、改善策としてサーキットトレーニングを行えるよう園庭を整備しました。今後も、健診結果が保健に関する計画に反映され、保育がさらに充実することを望みます。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、 医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>医師が記載した生活管理指導表をもとに、アレルギー食対応をしています。代替食は色どりと見た目に大きな差が生じないように配慮しています。食事対応内容に変更が生じた場合は、保護者から書面にて書類を再提出してもらい、職員間で情報共有し対応しています。食物アレルギーによる緊急時の個別対応フローチャートも作成し、個々に対応しています。慢性疾患のある子どもに対しては、主治医の指示のもと、子どもの状況に応じた対応をしています。</p>		
<p>A-1-(4) 食事</p>		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>リクエスト給食で希望が多かったカレーライス・ピザ作りを、保育室内で衛生面に配慮しながら実施しています。子ども達が畑で育てた野菜を子どもたち自身で収穫し、給食の時間に味わうこともあります。子ども達は、開放感のあるテラスで給食を食べることも楽しみにしています。今後も子ども達が食に関する豊かな経験ができるよう、更なる工夫を望みます。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を 提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園の畑ではキュウリやナス、里芋等の野菜を育てています。11月に行う園行事のマルシェでは、4・5歳児を中心に自分たちで収穫した里芋を使い、芋煮会を行う予定です。今後は、調理員・栄養士等が子ども達の食事の様子を見たり、子どもの話を聞く機会を設け、子どもの意見が反映さ</p>		

れた食事が提供されることを期待します。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園だよりは、ICT ツールから保護者に一斉配信されています。保護者会資料も事前に ICT ツールから配信され、当日は資料を見ながら保護者会を行っています。行事予定も配信しますが、アンケートは口頭もしくは用紙を用いています。アンケート集計や用紙配布・回収の負担軽減のため、ICT ツールが活用されることを期待します。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの相談は、お迎え時等口頭での相談が多いです。年に1度行われる二者面談の内容や対応策は、記録を取り、残しています。園での取り組みや、子どもの生活の様子をより深く理解してもらうために、「保護者一日保育士体験」を実施しています。参加した保護者からは「体験して保育園の様子がよくわかった」と好評です。今後もより多くの保護者に参加してもらえよう、体験内容を工夫されることを期待します。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>虐待防止マニュアルが整備されています。身体測定や着替え、おむつ替えの際は全身状態の確認をしています。また、日常生活の中で些細な変化を見逃さないように気を付けています。虐待対応、発生マニュアルは職員室で各自が随時確認できます。理事長の方針で、保護者自身が余裕をもった子育てができるよう、柔軟な預かりを実施しています。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を実践できるよう、「子どもを尊重する保育」のためのセルフチェックリストを活用し、保育実践の改善に取り組んでいます。また、専門性を向上させるために、ICT ツール内の研修ショート動画を各職員が視聴しています。今後は、保育園の異動の際、どのような研修を受けたかわかるように、ICT ツール内にある研修受講記録を活用されることを期</p>		

待します。